

事務事業名 青少年指導員事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：675

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-03-00
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	イエローハンドブック危険箇所数 少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成04年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内の青少年			【体制】青少年指導員55名（各小学校区5名）を委嘱							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【主な活動】							
青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図る。			<ul style="list-style-type: none"> 定期的（2ヶ月に1回）に開催する役員会で、各小学校区の情報交換を行い連携を図る。 研修会（年1回）の実施。青少年指導員の学習、研鑽を図る。 教育講演会（年1回）を実施。PTAを含め学習し、実践につなげる。 小学校区単位の街頭巡回指導。（各小学校区において、月2回実施） 二日市校区と山口校区は、合同でパトロールを実施。 夏期（7月）と冬期（12月）に、少年補導員とともに、5校の中学校を出発・帰着の夜間一斉補導パトロールを実施。 							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
巡回活動数		回	123	165	240	240		264		
問題行動発見件数		件	2	9	10	10		10		
5. コスト										
事業費		計	千円	1,399	1,647	1,568	1,593			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	1,399	1,647	1,568	1,593					
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.1					
正職員人件費		千円	800	1,618	807					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,199	3,265	2,375	1,593				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		定期パトロール以外に、学校等からも要請があり、地域に青少年指導員の活動が根付いています。また、幹事会を定期的を開催することにより、各地域（11小学校区）の現状報告や対策などの情報交換の場として、青少年補導員活動へ活かすことができている。								
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	類似としては、福岡県警察が委嘱している少年補導員（中学校区毎に活動、補導や立入り調査等の権限を持っている）がいる。青少年指導員は、市の委嘱で、小学校区毎に見守り活動を行うなど、裾野の広い活動を行い、補導等の権限を持っていないため、巡回パトロールなどでは、少年補導員と連携・協力して活動を行っている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
平成4年7月、「青少年を非行から守る全国強調月間」に併せて発足し、小学校区を中心に、青少年の健全育成に関する育成事業の推進、各種指導者との連携を図る等、青少年活動の指導を目的とする。						備考・特記事項 or 進行管理欄				
						平成23年度に例規の改正を行い、平成24年度から小学校区5人以内（11小学校区に55人以内）体制となった。 任期：2年。（4/1～翌々年3/31） 平成30・31年度：第14期青少年指導員				